

麻しん風しん混合（MR）

☆麻しん（はしか）や風しんは、ウイルスを口や鼻から吸いこむことで感染する病気です。感染力が強く、一人がかかると、家族やまわりの人たちに広がってしまうこともあります。

☆麻しん（M）は感染力が強く、重症化しやすい病気です。免疫がないとほぼ100%発症します。まれに重症化すると、命にかかわる場合もあります。ワクチン接種が感染を防ぐただ一つの方法です。

※妊娠中に麻しんにかかると、流産や早産などの問題をおこすことがあります。

☆風しん（R）にかかると、熱がでたり、ぶつぶつがでたりします。

※妊娠中に風しんにかかると、胎児に感染し、耳が聞こえにくい、目が見えにくい、生まれつき心臓に障害がある、発達がゆっくりしているなど「先天性風しん症候群」にかかってしまうことがあります。

☆麻しん風しん混合ワクチン（MRワクチン）を接種することで、体のなかに麻しん・風しんへの免疫（抵抗力）ができます。

☆このワクチンは1歳と、小学校入学前1年間（いわゆる年長児）の2回接種をします。

☆麻しん風しん混合ワクチン（MRワクチン）は生ワクチンです。

■予防接種の受け方

いつ受けるの？

1期 接種年齢：1歳以上2歳未満

2期 接種年齢：5歳以上7歳未満で小学校入学前の1年間（4/1～3/31）
（年度内に6歳になる者。いわゆる年長児）

持っていくものは？

母子健康手帳、麻しん風しん混合予防接種予診票、子ども医療費受給資格者証など

どこで？

福島市登録医療機関に予約してください

回数は？

1期 1回

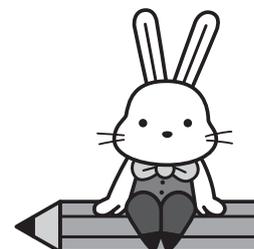
2期 1回

※合計2回の接種を忘れないようにしましょう。

■おこるかもしれない体の変化（副反応）

●麻しん・風しん混合ワクチン（MRワクチン）を接種した後、熱がでたり、ぶつぶつがでたりすることがあります。また、接種個所が赤くなったり、はれたりすることがあります。

●極めてまれに、アナフィラキシー（急激なアレルギー反応）やけいれん、血小板減少性紫斑病（かさぶたをつくる働きの血小板が少なくなって、出血しやすくなる）、脳炎などの重い症状があらわれることがあります。



○予防接種を受けた後、気になる症状や体調の変化があらわれたら、すぐに接種した医師に相談してください。